

## 海洋投棄禁止の中で 新たな方向性を模索中。



石山社長

### タロー海運株式会社

(愛知県西尾市)

目と鼻の先は知多湾、矢作川河口と支流北浜川の間に建つタロー海運を訪ね、石山社長にお話を伺いました。

— 主な業務はどのようなものになりますか。  
石山社長 (以下石山に略) 「一般廃棄物のし尿を中心とした海洋投棄最終処分がメインになります。ただ海洋投棄も近々難しくなりました。現在、産業廃棄物の海洋投棄は完全に禁止されている状態ですね。一般廃棄物はまだよいのですが、情勢からいって今後規制がさらに厳しくなると思われます。」

— そうしますと、産業廃棄物に関する現在の業務はどのようにされているのでしょうか。  
石山「産業廃棄物に関しては現在、汚泥の収集運搬が主ですね。」

— 御社のセールスポイントといいますと。  
石山「タロー海運の創業以前から石山工業所というかたちでやっています。そこではクリタさんの関係で水処理を中心とした清掃業をしてきました。工業関係の清掃ですとか、し尿処理施設の清掃を手掛けておりまして、その後海洋投棄に着目して石山工業所の系列会社としてタロー海運も興したんです。現在はうちの社屋の中にタロー海運と石山工業所、それに新たにホテル経営を主体にしたレジャー開発有限会社の3社を併設しています。うちのモットーとしては、汚い、きついといった人の嫌がる仕事をすすんでやる姿勢です。」

— 海洋投棄が難しくなってきた、今後の展望としてはどのような展開をお考えですか。

石山「いろいろ検討していますが、なかなか難しい面がありますね。私は父から社長を継いで3年目になります。以前、クリタに2年間出向して



社名/タロー海運株式会社 所在地/愛知県西尾市下矢田町久多良解5-1  
代表者/石山博輝 創業/昭和50年 従業員/18名 TEL/0563 (59) 7779  
事業所/本社  
営業種別/収集運搬 取扱い品目/汚泥、建設廃材、廃油、鉱さい、ダスト類

いまして、そこで水処理関係設備のノウハウを学びました。現在も応用科学の勉強を独学で続けていまして、新規分野に向けての基盤作りをしているところです。」

— 最近、労働基準局から酸欠事故等に対する注意などがありましたが、作業中の安全対策などはどうされていますか。

石山「確かに業務の中にはタンクの中に入って清掃するなど、危険性は必ずついてきます。とにかく慣れには気をつけるよう注意しています。酸欠硫化水素が測定できる酸欠主任者の資格を順次、従業員にとらせています。やはり現場では一人だけが資格を持っていても注意が伝わらない部分がありますので、全員が取得するように進めています。危険性を本人自らが自覚することが必要なんです。それと従業員によく言うのは「現場の作業員一人一人が営業マンだという自覚でお客様に接しなさい」ということです。」